

目次 Contents

- | | | | |
|----|--------------------|----|----------------|
| 3 | 1市2町広域連携バス「ゆうがおバス」 | 22 | 図書館だより |
| 4 | 幼児教育・保育の無償化 | 24 | 新・下野市風土記 |
| 5 | 外国語を学んでみませんか？ | 25 | 生涯学習だより |
| 6 | まちの話題 | 26 | 小規模特認校 市立細谷小学校 |
| 8 | 保健便り | 27 | 障がい福祉瓦版 |
| 12 | 仁良川地区宅地公売 | 28 | くらしの情報 |
| 14 | 環境トピックス | 41 | 9月のカレンダー |
| 16 | 国民年金だより | 42 | 国際交流員カロリンのコラム |
| 17 | 自治医科大学第48回薬師祭 | 44 | イベントカレンダー |
| 18 | レッツスポーツ | | |

今月の表紙 干瓢むき体験

今月の表紙は、7月20日にゆうがおパークで開催された「第9回しもつけかんぴょうまつり」の干瓢むき体験の様子です。下野市のかんぴょうは、生産量日本一を誇る特産品で、生産振興と消費拡大のため、イベントが開催されました。

皆さんは、かんぴょうがどのように作られるかご存知ですか？かんぴょうは、夕顔の実である「ふくべ」を匏(かんな)で薄くひも状にむいて乾燥さ

せたものです。

干瓢むき体験では、ふくべを回転させ、匏を押し当ててひも状にむく工程を体験することができ、参加者は、匏を押し当てて勢いよく飛び出してくる生の干瓢に驚いていました。

かんぴょうは、食物繊維やカルシウムなどを多く含み、夏バテ予防にも良いといわれています。残暑の厳しいこの時季に、ぜひ食べてみてください。

今月の何の日 9月9日 重陽の節句

1月7日（七草粥）、3月3日（ひな祭り）、5月5日（端午の節句）、7月7日（七夕）と合わせて、五節句といえます。古来、奇数は縁起の良い陽の数字と考えられ、中でも最も大きな9が重なる9月9日を、陽が重なる「重陽」と呼び、祝いました。

元々は中国から伝来し、平安時代に宮中行事として取り入れられたものが、時代とともに庶民の間にも広がりしました。

それぞれの節句を象徴する植物として、3月3日に桃、5月5日に菖蒲、7月7日に笹があるように、9月9日は菊で、菊の節句とも呼ばれます。仙人が住む地に咲く霊薬で、邪気を払い長寿をもたらす効能があるとされた菊を酒に漬け込んだり、枕に詰めたりして、厄払いや長寿祈願を行ったと

いいます。菊の美しさを競った菊合わせは、現在も菊まつりなどのかたちで各地に残っています。

節句を祝う食べ物として、3月3日はちらし寿司、5月5日は柏餅が定番であるように、9月9日には栗ごはんを食べました。また、9のつく日に茄子を食べると健康でいられるという言い伝えがあり、茄子料理を食べて無病息災を祈りました。

下野ブランドには、「下野のBナス」という水茄子があります。通常の茄子よりもビタミンB群を豊富に含んでおり、フルーツのように柔らかく、みずみずしい食感が特長です。

今はあまりなじみがなくなってしまった重陽の節句ですが、今年は菊の花を愛で、「下野のBナス」を味わい、健康と長寿を祈ってみませんか。

■人口と世帯（8月1日現在）

人口／60,139人（+15）、男性／29,861人（+28）、女性／30,278人（-13）、世帯数／24,193世帯（+21）

